

令和 7 年度  
公営企業会計 予算(案)について

恵庭市水道部経営管理課



# 令和7年度 恵庭市水道事業会計 予算(案)の概要 (ダイジェスト版)

※端数処理により合計や差額等が合わない場合がある。

## 予算規模等

- 予算規模(税込支出総額)**は、**23.9億円**となり、建設改良費の増加が大きく影響し、**直近10年間では最大規模**となった。
- 純利益は、0.91億円が見込まれ、9期連続の黒字予算**を編成することができた。  
なお、純利益は、直近5年間のレンジ幅(0.84~1.22億円)の範囲内で推移している状況。
- 現金は、0.70億円増加し、R7年度末には、11.68億円**になることが見込まれる。

※消費税込み。ただし、カッコ内は税抜き。

収益的収支	内容	R7予算	R6予算 に対する差額	経営戦略 に対する差額
収入	水道料金収入、受託事業収益、長期前受金戻入ほか	<b>17.15億円</b> (15.71億円)	+0.45億円 (+0.43億円)	(+0.36億円)
支出	受水費、配水及び給水費、総係費、減価償却費ほか	<b>15.81億円</b> (14.81億円)	+0.23億円 (+0.18億円)	(+0.09億円)
収支差	- ※差額のプラスは改善、マイナスは悪化を示す。	<b>1.34億円</b> ( <u>0.91億円</u> )	+0.22億円 (+0.24億円)	(+0.27億円)

※消費税込み。

資本的収支	内容	R7予算	R6予算 に対する差額	経営戦略 に対する差額
収入	企業債借入ほか	<b>2.95億円</b>	+1.41億円	+1.55億円
支出	水道施設整備費、メーター設置費、固定資産購入費、企業債償還金ほか 《うち建設改良費》	<b>8.11億円</b> 《6.84億円》	+1.53億円 《+1.59億円》	+1.15億円 《+1.10億円》
収支差	- ※差額のプラスは改善、マイナスは悪化を示す。	<b>△5.16億円</b>	△0.12億円	+0.40億円

※資本的収支不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填。

	R5決算	R6決算見込	R7予算
資金期末残高 (年度末現金残高)	<b>10.20億円</b> (未収金 1.28億円) (未払金等 1.15億円)	<b>10.97億円</b> (未収金 1.44億円) (未払金等 1.06億円)	<b>11.68億円</b> (未収金 1.34億円) (未払金等 1.29億円)
		+0.77億円	+0.70億円

## 主な施策 概要

※事業費(工事請負費or委託料)のみ計上

- 水道管路の耐震化・老朽化対策を継続するとともに、河川改修に伴う配水管布設替工事や新市街地開発に関連する計画策定業務などに着手します。

### 管路整備(耐震化・老朽化対策) 351百万円

〔継続〕耐震性に乏しい塩ビ管の布設替による耐震化

〔継続〕道路・下水道工事や民間開発に合わせた老朽管の布設替

### 管路整備(その他) 9百万円

〔継続〕未普及解消に伴う新規の管路整備(有明町)

### ルルマップ川改修関連事業 49百万円

〔継続拡大〕南18ルルマップ川仮橋への添架  
(工事に着手) (財源 道河川負担)

### 配水池整備(老朽化対策) 8百万円

〔継続〕配水池における電気設備の更新(牧場配水池)

### 新市街地関連事業 18百万円

〔新規〕水需要の想定及び整備計画の策定  
(財源 一般会計負担)

## 主な経営指標

- 流動比率は、目標とする200%を上回り、資金繰りに係る安全性が高い状況である。**  
水道料金収入の増加及び減価償却費の計上などにより流動資産(主に現金預金)が増加している。一方で元金償還金の減少などにより流動負債が減少している。このため、流動比率が上昇している。
- 企業債現在高は、増加傾向であり、将来負担の増加に留意が必要である。**  
近年、水道事業会計全体の現金収支バランスを意識した借入としており、建設改良費の増加に応じて借入額が増加傾向である。一方、元金償還ピークはR3であり、当面減少傾向が続く見込みである。

	R3決算	R4決算	R5決算	R6決見	R7予算
流動比率	<b>210.90%</b>	<b>259.59%</b>	<b>325.73%</b>	<b>365.87%</b>	<b>394.42%</b>
流動資産	1,023百万円	1,050百万円	1,158百万円	1,251百万円	1,310百万円
流動負債	485百万円	405百万円	355百万円	342百万円	332百万円

	R3決算	R4決算	R5決算	R6決見	R7予算
元金償還額	173百万円	173百万円	160百万円	131百万円	125百万円
借入額	179百万円	290百万円	192百万円	214百万円	244百万円
企業債現在高	<b>1,698百万円</b>	<b>1,815百万円</b>	<b>1,848百万円</b>	<b>1,931百万円</b>	<b>2,050百万円</b>

## 前年度予算との比較 (主なもの)

※消費税込み。

大項目	項目	R7予算	R6予算	R6予算 に対する差額	主な要因等
収益的収入	給水収益(水道料金)	<b>1,522百万円</b>	1,498百万円	+25百万円	家事用及び家事用外の水道料金の微増(R6決算見込同額)
〃	他会計負担金	<b>20百万円</b>	2百万円	+18百万円	新市街地開発に係る計画策定に対する負担金の皆増
収益的支出	受水費	749百万円	749百万円	+1百万円	R6実績を踏まえた給水量による(微増)
〃	配水及び給水費	<b>141百万円</b>	125百万円	+16百万円	委託料(新市街地開発に係る計画策定、配水池内面防水塗装設計等)の増
〃	総係費	193百万円	200百万円	△7百万円	委託料(ビジョン・経営戦略改定(皆減)等)の減
〃	減価償却費	428百万円	422百万円	+6百万円	近年、建設改良費が増加
〃	資産減耗費	29百万円	23百万円	+7百万円	更新事業の増加
〃	支払利息及び企業債取扱諸費(利子償還)	18百万円	19百万円	△1百万円	高利率の企業債の償還完了
資本的収入	企業債	<b>244百万円</b>	145百万円	+99百万円	建設改良費の増。現金収支バランスを考慮した借入。
〃	負担金	<b>51百万円</b>	9百万円	+42百万円	河川改修に伴う橋梁添架管の布設替に対する負担金の増
資本的支出	水道施設整備費	<b>457百万円</b>	368百万円	+89百万円	河川改修に伴う橋梁添架管の布設替工事の着手
〃	メーター設置費	<b>227百万円</b>	158百万円	+69百万円	設置個数及び材料単価の増
〃	企業債償還金(元金償還)	125百万円	131百万円	△6百万円	過去の借入状況による変動



# 公営企業会計予算(案)の概要

## 【令和7年度予算案策定にあたり】

令和7年度公営企業会計予算は、将来にわたり健全で安定した経営を持続するための中長期的な経営方針となる「水道及び下水道の各ビジョン・経営戦略」の財政収支計画を基本とし、計画的な事業の推進や現金残高と企業債残高のバランス、施設整備における重要度、優先度を考慮した予算を編成いたしました。

## 1. 水道事業会計の概要

収益的収入は、料金収入を前年度比2,461万円増の15億2,289万円(前年度決算見込み額)とし、計17億1,487万円(前年度比4,507万円増)を見込みました。

収益的支出では、新市街地開発に伴う整備計画策定委託や配水池内面防水塗装実施設計委託等の増額により、前年度比2,310万円増の15億8,127万円と見込み、純利益については前年度比2,412万円増となる9,070万円を見込みました。

資本的収入では、事業を確実に実施するため、企業債の借入額を前年度比9,880万円増の2億4,400万円とし、計2億9,547万円(前年度比1億4,078万円増)を見込みました。

資本的支出では、企業債償還金は減少するものの、メーター設置工事やルルマップ川河川改修に係る橋梁添架管工事の増により、全体事業費を前年度比1億5,252万円増の8億1,113万円と見込みました。なお、支出総額である予算規模は、前年度比1億7,563万円増の23億9,241万円となりました。

### 〔主な水道事業〕

事業費計 435,668千円(前年度比+98,975千円)

#### 管路整備

事業費 427,374千円(前年度比+90,681千円)

##### ●老朽化・耐震化

恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略に基づき、地震に弱いとされる塩化ビニル管(TS継手)について耐震性を有する管への更新を優先的に行います。

□布設替工事(老朽管耐震化工事、道路改良・下水道整備、河川改修、開発行為に伴う工事など)

《4条予算》 L=3,972m、 391,784千円(前年度比+102,013千円)

(耐震化工事分 243,647千円、道路改良等 148,137千円)

うちTS管:2,787m(R7末残延長 14,820m)

□配水管実施設計委託業務

《4条予算》 7,997千円(前年度比 増減なし)

##### ●未普及

地域住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善を図ります。

□布設工事

《4条予算》 L=100m、9,300千円(前年度比 皆増)

##### ●新市街地開発事業

新市街地開発に伴う水需要の想定及び整備計画の策定

□新市街地開発に伴う整備計画作成委託業務

《3条予算》 17,864千円(前年度比 皆増)

##### ●災害対策

応急給水体制の確保及び推進を図ります。

□緊急貯水槽(緊急遮断弁)の点検業務

《3条予算》 429千円(前年度比 皆増)

#### 配水池整備

事業費 8,294千円(前年度比 皆増)

##### ●老朽化対策

恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略に基づく電気設備の更新により、老朽化対策を図ります。

□電気設備更新工事(牧場配水池:流量調節計コントローラ、投込式水位計)

《4条予算》 8,294千円(前年度比 皆増)

□水道事業会計の概要

\*経費区分欄の(歳入)(歳出)には主な経費のみ記載

(単位:千円)

経費区分	予算額		増減額	備考
	令和7年度	令和6年度		
予算規模	2,392,410	2,216,780	175,630	
○収益的収支				
(歳入)	1,714,876	1,669,801	45,075	
水道料金	1,522,890	1,498,280	24,610	○水道料金(家事用)の増:前年比+13,714千円 ○水道料金(家事用外)の増:前年比+10,896千円
その他	191,986	171,521	20,465	○新市街地開発に伴う整備計画策定に係る負担金の増+17,864千円
(歳出)	1,581,278	1,558,177	23,101	
受水費	749,448	748,739	709	○R6実績を踏まえた給水量による算定(微増)
配水及び給水費	141,306	125,001	16,305	○委託料(新市街地開発に伴う整備計画、配水池内面防水塗装実施設計など)の増:前年比+32,467千円 ○人件費の減:前年比▲13,463千円
総係費	192,561	199,652	▲7,091	○委託料(ビジョン・経営戦略改定(皆減)など)の減:前年比▲5,630千円 ○光熱水費の減:前年比▲2,016千円
企業債償還利息	17,525	18,550	▲1,025	○利子償還の減
その他	480,438	466,235	14,203	
○資本的収支				
(歳入)	295,479	154,693	140,786	
企業債	244,000	145,200	98,800	○水道事業債(建設改良費)借入額の増
出資金・補助金	0	0	0	
その他	51,479	9,493	41,986	○ルルマップ川河川改修に係る工事等負担金の増
(歳出)	811,132	658,603	152,529	
水道施設整備費	457,075	367,675	89,400	○工事請負費(ルルマップ川河川改修関連(皆増)など)の増:前年比+90,177千円 ○人件費の増:前年比+8,659千円 ○委託料(ルルマップ川河川改修関連設計(皆減)など)の減:前年比▲9,493千円
固定資産購入費	450	0	450	○無形固定資産購入の増
企業債償還金	124,920	131,038	▲6,118	○元金償還金の減
その他	228,687	159,890	68,797	○メーター設置費の増(設置個数及び材料単価の増)

※消費税込

(単位:千円)

	令和7年度	令和6年度	増減額
当年度純利益(税抜)	90,703	66,583	24,120

# 令和7年度 恵庭市下水道事業会計 予算(案)の概要 (ダイジェスト版)

※端数処理により合計や差額等が合わない場合がある。

## 予算規模等

- 予算規模(税込支出総額)は、52.6億円となり、維持管理費の増及び建設改良費の増により、公営企業法適用(H25)以降、最大規模となった。
- 純利益は、0.87億円が見込まれ、法適用(H25)以降、13期連続の黒字予算を編成することができた。  
なお、純利益は直近5年間のレンジ幅(0.42~1.45億円)の範囲内で推移している状況。
- 保有現金は0.10億円増加し、R7年度末には21.04億円になることが見込まれる。

※消費税込み。ただし、カッコ内は税抜き。

収益的収支	内容	R7予算	R6予算 に対する差額	経営戦略 に対する差額
収入	下水道使用料収入、一般会計繰入金、国庫補助金、受託事業収益、長期前受金戻入、バイオガス売却収益ほか	29.53億円 (28.75億円)	+0.43億円 (+0.81億円)	(+2.49億円)
支出	管渠費、処理場費、個別排水処理費、生ごみ・し尿処理場費(受託事業費)、業務費、総係費、減価償却費ほか	28.37億円 (27.88億円)	+0.45億円 (+0.36億円)	(+2.62億円)
収支差	— ※差額のプラスは改善、マイナスは悪化を示す。	1.44億円 (0.87億円)	△0.02億円 (+0.45億円)	(△0.13億円)

※消費税込み。

資本的収支	内容	R7予算	R6予算 に対する差額	経営戦略 に対する差額
収入	企業債借入、国庫補助金、一般会計繰入金ほか	15.81億円	+4.48億円	+5.42億円
支出	公共下水道整備費、個別排水処理施設整備費、企業債償還金ほか	24.22億円	+4.43億円	+5.59億円
	《うち建設改良費》	《15.16億円》	《+4.31億円》	《+5.50億円》
収支差	— ※差額のプラスは改善、マイナスは悪化を示す。	△8.41億円	+0.05億円	△0.17億円

※資本的収支不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金で補填。

	R5決算	R6決算見込	R7予算
資金期末残高 (年度末現金残高)	21.41億円 (未収金 1.54億円 未払金等 2.51億円)	20.95億円 (未収金 1.86億円 未払金等 1.87億円)	21.04億円 (未収金 2.38億円 未払金等 1.73億円)
		△0.46億円	+0.10億円

## 主要な施策 概要

- 分流化の完了を目指すとともに管渠及び処理場の老朽化対策及び耐震化を継続します。  
また、ウォーターPPP導入準備や土地区画変更に伴う管網整備(設計)も行います。

<b>合流式下水道の分流化</b> 606百万円	<b>処理場整備</b> 518百万円
継続 汚水管の布設による分流化(R7完了を目指す)	継続 老朽化対策(機器更新：脱水機2/2年目)
<b>管路整備等</b> 434百万円	継続 耐震化(設計：初沈、放流P棟、流入渠・放流渠)
継続 老朽化対策、耐震化	<b>柏陽地区複合施設建設関連事業</b> 29百万円
継続 雨水整備(樋門改造、浸水想定等)、汚水整備	<b>新規</b> 土地区画変更に伴う管網変更実施設計 (後年度一般会計負担)
周期的継続 事業計画変更	<b>個別排水処理施設整備</b> 22百万円
<b>継続拡大</b> ウォーターPPP導入準備	継続 合併処理浄化槽の整備

## 主な経営指標

- 流動比率は、目標とする150%を上回り、資金繰りに係る安全性が高い状況である。  
下水道使用料収入や一般会計繰入金の増などにより流動資産が増加し、流動比率も増加傾向である。
- 企業債現在高は、R6から増加したが、R8以降は、分流化の完了により、借入が落ち着くため、減少に転じることが見込まれている。  
元金償還ピークはR8であり、R5が直近のボトムである。

	R3決算	R4予算	R5決算	R6決見	R7予算
流動比率	177.3%	195.1%	195.9%	207.6%	212.0%
流動資産	2,002百万円	2,113百万円	2,295百万円	2,280百万円	2,342百万円
流動負債	1,129百万円	1,083百万円	1,172百万円	1,098百万円	1,104百万円

	R3決算	R4決算	R5決算	R6決見	R7予算
元金償還額	951百万円	932百万円	887百万円	891百万円	905百万円
借入額	574百万円	662百万円	537百万円	652百万円	1,033百万円
企業債現在高	13,195百万円	12,925百万円	12,575百万円	12,335百万円	12,463百万円

## 前年度予算との比較 (主なもの)

※消費税込み。

大項目	項目	R7予算	R6予算	R6予算 に対する差額	主な要因等
収益的収入	下水道使用料(個排含む)	1,126百万円	1,115百万円	+11百万円	家事用及び家事用外の下水道使用料の微増(R6決算見込同額)
〃	雨水処理負担金(一般会計繰入金)	557百万円	524百万円	+33百万円	維持管理費の増加による増
〃	受託事業収益(生ごみ・し尿処理場維持管理受託収益)	88百万円	76百万円	+12百万円	物価及び労務単価の上昇
〃	他会計負担金(一般会計繰入金)	182百万円	171百万円	+10百万円	維持管理費の増加による分流式下水道等に要する経費の増
〃	長期前受金戻入	803百万円	823百万円	△20百万円	償却終了資産の増加による減
〃	雑収益(バイオガス売却益等)	75百万円	79百万円	△4百万円	バイオガス売却益の微減
収益的支出	管渠費	211百万円	204百万円	+8百万円	人件費の増
〃	処理場費	591百万円	561百万円	+30百万円	修繕費及び委託料(包括)の増
〃	総係費	109百万円	91百万円	+18百万円	委託料(事業計画変更など)及び人件費の増
〃	減価償却費	1,517百万円	1,549百万円	△32百万円	償却終了資産の増加による減
〃	支払利子および企業債取扱諸費(利子償還)	134百万円	133百万円	0百万円	横ばい
資本的収入	企業債	1,033百万円	801百万円	+232百万円	建設改良費の増
〃	補助金(国庫補助)	443百万円	227百万円	+216百万円	補助対象事業の増
資本的支出	公共下水道整備費	1,491百万円	1,061百万円	+430百万円	処理場設備更新の増(脱水機更新2年目)
〃	個別排水処理施設整備費	22百万円	22百万円	±0百万円	合併処理浄化槽10基
〃	企業債償還金(元金償還)	904百万円	891百万円	+13百万円	過去の借入状況による変動





## 2. 下水道事業会計の概要

収益的収入は、使用料収入を前年度比1,060万円増の11億2,580万円(前年度決算見込み額)、一般会計繰入金金を前年度比4,584万円増の7億9,934万円とし、計29億5,252万円(前年度比4,318万円増)を見込みました。

収益的支出では、終末処理場の修繕費や委託料等の増額により、前年度比4,472万円増の28億3,700万円と見込み、純利益については前年度比4,535万円増となる8,732万円を見込みました。

資本的収入では、事業を確実に実施するため、企業債の借入額を前年度比2億3,210万円増の10億3,260万円とし、計15億8,064万円(前年度比4億4,815万円増)を見込みました。

資本的支出では、処理場のストックマネジメント事業費や分流化事業費の増加等により、前年度比4億4,312万円増の24億2,180万円と見込みました。

なお、支出総額である予算規模は、前年度比4億8,784万円増の52億5,881万円となりました。

### 〔主な下水道事業〕

事業費計 1,583,250千円(前年度比+400,450千円)

#### 合流式下水道の分流化

事業費 606,000千円(前年度比+49,000千円)

- 合流式下水道地区に污水管を新設することによる分流化を継続し、公共用水域である河川の水質を保全するとともに合流式下水道特有の臭気の改善を図ります。

《4条予算》 606,000千円(前年度比+49,000千円)

#### 管路整備等

事業費 459,250千円(前年度比+57,450千円)

##### ● 老朽化対策

- スtockマネジメント計画に基づき、布設替えや更生による管路の老朽化対策を図ります。

《4条予算》 89,000千円(前年度同額)

- 自走式テレビカメラ調査や管口カメラ調査により、管路施設の健全度を把握します。

《3条予算》 98,800千円(前年度比+21,800千円)

- 老朽化した公共柵やマンホール蓋の交換を行います。

《4条予算》 18,450千円(前年度比+1,250千円)

##### ● 耐震化

- 耐震診断結果に基づき、管路施設の耐震化を図ります。

《4条予算》 87,000千円(前年度比+40,000千円)

##### ● 雨水・污水整備

- 雨水管整備による浸水対策や污水管整備による生活排水処理の普及を図り、快適で持続可能な生活環境を創出します。

(主な事業:樋門ゲート改造、内水浸水想定区域図の作成(2/2年目)、島松寿町外測量設計、柏陽地区複合施設関連管渠実施設計)

《3条予算》 16,500千円(前年度比▲12,500千円)

《4条予算》 129,700千円(前年度比+24,100千円)

##### ● 民間活力の積極利用

管渠施設と処理場施設との一体的な包括民間委託(ウォーターPPP)の導入準備を行います。

《3条予算》 19,800千円(前年度比 ▲200千円)

#### 処理場整備

事業費 518,000千円(前年度比+294,000千円)

##### ● 老朽化対策

- スtockマネジメント計画等に基づく脱水機設備の更新(2/2年目)等により老朽化対策を図ります。

《4条予算》 465,000千円(前年度対比+299,000千円)

##### ● 耐震化

- 終末処理場内の各施設に応じた重要度を踏まえ放流渠等の耐震化を図ります。

《4条予算》 53,000千円(前年度比+15,000千円)

□下水道事業会計の概要

\*経費区分欄の(歳入)(歳出)には主な経費のみ記載

(単位:千円)

経費区分	予算額		増減額	備 考
	令和7年度	令和6年度		
予算規模	5,258,815	4,770,967	487,848	
○収益的収支				
(歳入)	2,952,521	2,909,341	43,180	
下水道使用料 (個別排水処理使用料含む)	1,125,800	1,115,194	10,606	○下水道使用料(家事用)の増:前年比+8,259千円 ○下水道使用料(家事用外)の増:前年比+2,368千円 ○個別排水処理使用料(家事用)の減:前年比▲21千円
一般会計繰入金	799,341	753,499	45,842	○雨水処理負担金の増:前年比+33,126千円 ○一般会計補助金の増:前年比+2,383千円 ○他会計負担金の増:前年比+10,333千円
バイオガス発電事業収益	74,000	78,000	▲ 4,000	○ガス売却収益の減
その他	953,380	962,648	▲ 9,268	○長期前受金の減:前年比▲19,924千円
(歳出)	2,837,009	2,792,284	44,725	
管渠費	211,286	203,556	7,730	○人件費の増:前年比+6,066千円
処理場費	590,697	560,708	29,989	○修繕費(定期・臨時)の増:前年比+19,175千円 ○委託料(維持管理委託など)の増:前年比+16,134千円
総係費	109,082	90,852	18,230	○委託料(事業計画変更など)の増:前年比+24,060千円 ○人件費の減:前年比▲6,637千円
その他	1,925,944	1,937,168	▲ 11,224	○減価償却費の減:前年比▲32,855千円
○資本的収支				
(歳入)	1,580,643	1,132,487	448,156	
企業債	1,032,600	800,500	232,100	○下水道事業債(公共下水道 建設改良費)借入額の増
国庫補助金	442,500	227,100	215,400	○社会資本整備総合交付金(公共下水道)の増
その他	105,543	104,887	656	○一般会計出資金の増:前年比+2,987千円
(歳出)	2,421,806	1,978,683	443,123	
公共下水道整備費	1,491,187	1,061,363	429,824	○委託料(管渠・処理場ストマネなど)の増: :前年比+372,350千円 ○工事請負費(分流化など)の増:前年比+55,000千円 ○人件費の増:前年比+2,768千円
固定資産購入費	2,304	1,600	704	○固定資産購入(有形・無形)の増
企業債償還金	903,725	891,130	12,595	○企業債償還金の増
その他	24,590	24,590	0	

※消費税込

(単位:千円)

	令和7年度	令和6年度	増減額
当年度純利益(税抜)	87,329	41,978	45,351